

集約化・提案型森林施業 かわら版

提案型集約化施業の加速化に向け事業内容を拡充！

平成20年12月24日に、平成21年度政府予算案が概算決定されました。

施業集約化・供給情報集積事業 概算決定額:523,756千円

< ポイント > 本事業を活用して、平成20年度には、約320の森林組合等が提案型集約化施業に取り組んでいます。平成21年度は、この取組を更に推進するために、事業内容を拡充しました。

平成21年度の拡充概要

森林施業の集約化の面的拡大

● 集約化面積を拡大

集約化森林内の間伐等を行う森林(伐採可能森林)での現況調査の対象を向こう3年以内に間伐等を行う森林とし、集約化の面的拡大を図ります。なお、森林情報の収集は、森林整備地域活動支援交付金で措置します。

● 地域集約化促進協議会の設置による地域での取組を促進

地域における集約化と施業の推進母体として、市町村、都道府県、森林組合、林業事業者、森林所有者等を構成員とした地域集約化促進協議会を設置し、地域の実状に応じた計画的な集約化の促進を図ります。

人材の育成（森林施業プランナー育成研修）

● 都道府県レベルでの指導・支援体制を確立

現行の森林施業プランナー育成研修の参加対象に新たに都道府県森連職員等を加え、森林組合等林業事業者に対し提案型集約化施業の指導、全国部会が行う体制評価に対する地域での支援ができる一定レベル以上の技能・知識を習得し、地域段階で森林プランナーの指導・助言等が行える者を育成します。（研修内容に指導者向けのより高度なカリキュラムを追加）

不在村森林所有者への森林施業の働きかけ

● 不在村森林所有者へ幅広い働きかけを実施

これまでの「ふるさと森林会議」や司法書士との連携に加え、ダイレクトメールの送付等により幅広く森林施業の働きかけを行います。

平成21年度「施業集約化・供給情報集積事業」に参加する森林組合等を募集中！！

提案型集約化施業の取組は、平成23年度までに組合員所有森林面積の大宗(8割程度)をカバーする体制の構築を目指し、約500の森林組合が取り組むこととしていますが、まだ100組合程度が不足しています。積極的なご参加をご検討下さい！

(なお、平成19・20年度に同事業に取り組んだ場合でも、引き続き、取り組むことは可能です。)

→ 「施業集約化・供給情報集積事業」の詳細を解説した「取組の手引き」を林野庁HPに掲載しています。
(<http://www.rinya.maff.go.jp/seisaku/sesakusyoukai/syuyakuka/siryu.html>)

実践体制基礎評価の実施について

平成21年度より、提案型集約化施業に取り組む事業体の基礎的な実践体制を評価します。

実践体制基礎評価とは、提案型集約化施業の基本的なことが事業体の組織内で具体化されているかを、公平・中立な外部機関が、専門的かつ客観的な立場から評価するものです。

事業体は、外部評価を受けることにより、自らが抱える課題を具体的に把握、改善することができます。

また、認定事業体の公表により、森林所有者が利用間伐等を事業体に委託する際の情報とすることができます。

評価に当たっては、5つの達成目標を設定し、その達成目標ごとに評価基準を設定し評価することとしています。

なお、評価基準等については、都道府県及び都道府県森林連合会へ意見照会しており、3月中旬に全国部会でとりまとめることとしています。

5つの達成目標(案)

目標1	提案型集約化施業の実行のために必要な組織の推進体制が構築されている。
目標2	実行可能で透明性の高い施業提案書及び完了報告書が作成されている。
目標3	長期的な視点に立った森林施業が適切なコストで行われている。
目標4	現場のマネジメント体制が整っている。
目標5	森林所有者との信頼関係、情報公開体制が確立されている。

提案型集約化施業の先導役 湯浅氏(日吉町森林組合)TV出演

「森に生きる、山に教わる～森林再生・湯浅勲～」と題して、2月3日NHK「プロフェッショナル」に森林再生のエキスパートとして取り上げられました。
【2月10日(火) 総合 午前1:00～1:45 再放送予定】

ふるさとの森林(人工林)を生き生きとした姿に生まれ変わらせたいたいとの思いから、間伐などの森林施業に対して森林所有者の賛同を得るため、「崩れにくい道づくり」を中心に知恵と工夫でコストダウンを図り、また、組織内では出来高払いの現場職員を月給制にするなどして現場と事務所の一体化を図り、職員全員が同じ方向を向いて仕事ができるよう取り組んできたことなどが紹介され、湯浅氏の森林に対する情熱が感じられました。

また、森林施業プランナー育成研修での指導の様子や、その中で、和歌山県内の森林組合に出向いて指導する様子も紹介され、まずは傾斜の緩いところから取組を進めるようアドバイスされました。

最後に、この取組を点から面へと広げて、宝の山を造っていくべきと述べられました。



プランナー研修(湯浅氏)



プランナー研修取材の様子

第2回提案型集約化施業事例発表会を開催!

平成19年度より始まった施業集約化・供給情報集積事業の一環として実施した森林施業プランナー育成研修を受講した事業体等の中から、提案型集約化施業の普及・定着に役立つと考えられる取組事例について、プレゼンテーション及びポスターセッションの形式で発表を行います。是非、ご参加下さい。

第1部 事例発表、パネルディスカッション 9時～12時			
事例発表組合等		発表概要	
菊池森林組合 久万広域森林組合 岡崎森林組合		・今年(又は数年間の)の取組について ・提案型施業により得られた成果 ・今後の方向性・課題	
岐阜県 県産材流通課		提案型施業普及のための研修会・現地講習・個別指導等	
群馬県森林組合連合会		提案型施業普及のための組合の現状を踏まえた個別指導等	
第2部 ポスターセッション、DVD上映 13時～14時			
ブロック名	森林組合名	ブロック名	森林組合名
北海道	苫小牧広域(北海道)	近畿	大紀(三重県)
東北A	南三陸(宮城県)	中国・四国A	山口中央(山口県)
東北B	大館北秋田(秋田県)	中国・四国B	久万広域(愛媛県)
関東	東京都(東京都)	中国・四国C	須崎地区(高知県)
中部A	東蒲原(新潟県)	九州A	菊池(熊本県)
中部B	岡崎(愛知県)	九州B	西臼杵(宮崎県)
第3部 講演、事例発表 14時～16時40分			
事例発表組合		発表概要	
三次地方森林組合(広島県)		・組織としての取組経緯	
羽咋森林組合(石川県)		・施業実績 ・中期計画及び課題	

開催日時:平成21年2月25日(水)

開催場所:国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)

問い合わせ先:全国森林組合連合会 林政・組織部 組織運動推進課(担当:富山、熊谷)

参加申し込み:右記のホームページよりお申し込み下さい。 <https://www.genboku.net/h20/>

申込期限は2月10日(火)です。申し込み多数の場合は先着順となります。

今回のニュースレターの発行は3月上旬を予定しています。

<http://www.rinya.maff.go.jp/seisaku/sesakusyukai/syuyakuka/newsletter.html>

企画・発行:林野庁林政部経営課 提案型施業推進事務局 TEL:03-3501-3810/Fax:03-3502-1649